

臨床工学技士による臨床現場の「困りごと」から製品開発・研究業績へ

第3回 臨床工学・産学連携 マッチング会 臨床ニーズ募集

【開催概要】

日時 2020年9月15日(火)18:00～20:00

会場 Web オンライン (ZOOM ウェビナー)

参加費 無料

【臨床ニーズ募集】

臨床現場の困りごとや問題などの臨床ニーズをものづくり・製販企業に発表して、臨床ニーズを解決する具現化した製品を作いませんか？
ものづくり・製販企業とマッチングして、Web会議を活用し、迅速に共同研究開発・製品上市に向けて取り組みます。

発表場所：自宅や職場など、全国どこからでも発表可能

発表形式：口演（パワーポイント） **発表時間**：5分（スライド1枚まで）

応募資格：東京都臨床工学技士会会員 または日本臨床工学技士会会員

応募の詳細は裏面をご覧ください（氏名、所属先、会員番号、ニーズ要約①～③）

臨床ニーズ募集期間：2020年8月10日（月）まで

応募先：東京都臨床工学技士会ホームページまたは
QRコードからご応募下さい。

応募先QRコード



ニーズ募集要項やその他、メールでのお問合せ先 web_ikou@tokyo-ce.jp
東京都臨床工学技士会 理事 医工連携部会 部会長 朝日大樹

ニーズ要約

①開発するデバイスの種類（20文字以内）

例）鉗子、超音波診断装置、処置用台など

②デバイス開発の背景（臨床現場の現状と問題点を200文字以内）

※ 知財保護等のため「公開可能な情報」に限定ください。開発アイデア（解決策）そのものなど知財に関わる情報、秘密の情報は記載できません。

良い例）問題点までの情報を提供

→〇〇が難しい、□□が時間がかかる、××ができない

悪い例）解決策の情報は提供しない

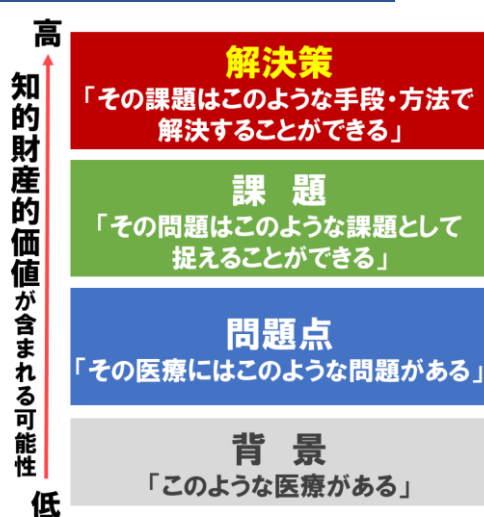
→〇〇ができるようにしたい、□□な構造の××を開発したい

文章の最後にマッチング希望先をお書きください。例「金属・樹脂加工の企業を求めています」

③具体的なデバイス開発のアイデアの有無

ニーズ発表方法

スライドは1枚で背景と問題点のみ発表する。課題や解決策など知財的価値のある情報は発表しない。



スライド発表例

2019年〇月〇日 第1回 医工連携クラスター研究会 発表者:〇〇〇 〇〇病院 臨床工学科 〇〇 〇〇		デバイス開発で解決したい問題点 この問題を解決したい
〇〇できない/〇〇になってしまう(問題点)		
ここに、 「臨床現場の問題点 が伝わる写真」 を掲載する 現場の臨場感・重要性・緊急性・迫力 が伝わる写真を掲載する 出典:〇〇〇〇 〇〇〇(写真の説明)	「問題点に関連する 現行のデバイスの写真」 出典:〇〇〇〇 〇〇〇(写真の説明)	
年間患者数〇〇人、年間実施件数〇〇件、予想単価〇〇円 ...		

発表前の流れ

臨床ニーズの応募
ニーズ要約①～③

臨床ニーズの査読^{※1}
東京都臨床工学技士会 医工連携WG

※1 臨床ニーズをブラッシュアップします、ものづくり・製販企業の方々に向けて、問題点の明確化や医療用語を分かりやすい文章に修正します。

東京都医工連携HUB機構HP掲載^{※2}

※2 その他、東京都医工連携HUB機構登録会員約1,800機関(企業・研究機関)に向けてメールマガジンを配信し、臨床ニーズをお知らせします。

第3回 臨床工学・産学連携マッチング会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

発表後の流れ

第3回 臨床工学・産学連携マッチング会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

マッチング^{※3}
臨床工学技士 × 製販企業 × ものづくり企業

※3 秘密保持契約(NDA)締結後、ニーズの課題や解決策など知的財産的価値の情報を交換する。ニーズから製品化につながる確率を高めるため製販企業・ものづくり企業と開発テーマを作る。

公的資金申請・獲得^{※4}
申請者＝ものづくり企業

※4 東京都中小企業振興公社
医療機器産業参入促進助成事業
(事業化助成金または開発着手助成金)

共同研究開発・製品化